

小学校 第3学年 学級活動(1)指導案

平成 27 年 11 月 13 日（金）

児童数

指導者

1 議題 「係活動発表会をしよう」

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級は、男子 10 名・女子 4 名、計 14 名のクラスである。全体的に明るく活発で、休み時間には元気に体を動かして遊ぶ姿がよく見受けられる。日々の生活の中では、困っている友だちがいれば声を掛け助けてあげられる優しさもある。

4 月から、○元気（休まず登校）○笑顔（みんなが仲良く）○思いやり（仲間を大切に）を目標にして『共に学ぶ“仲間”』を意識し活動できるよう学級づくりに取り組んできた。学級活動が大好きで「学級活動が楽しい」という児童が多く、少しずつ自主的な活動を体験してきた。

2 学期の話合い活動は、「竹馬名人になろう」「クラスがもっと楽しくなる係活動を決めよう」「掃除上手になろう」等について行ってきた。計画委員会の活動が十分にできていない時もあったが、計画委員会の活動にも楽しみを感じながら協力して活動ができている。話合い活動の中では、『出し合う』『比べ合う』『まとめる』を全員が意識し、時間内に話し合いを終わらせることも大きな目標の一つとして取り組んできた。

係活動については 1 学期から意欲的に取り組んでいた。2 学期に入り、1 学期の係活動の評価をし合ってから新しい係を決めた。それぞれの係が、みんなが楽しく学級生活が送れるように活動内容を工夫しながら取り組んできた。

(2) 議題設定の理由

本議題「係活動発表会をしよう」は、2 学期最初に決めた係活動について 3 学期に向けてバージョンアップをしたいという思いが担任と児童で一致したことから今回選定された。他に「お誕生日会をしよう」「地域探検をしよう」という提案が出されていた。全校発表集会担当が 11 月末であったので、計画委員会では、全校の発表集会で 3 年生の係活動の取り組みをみんなに伝えたいということで今回の議題を選定し、全員で決定した。他の議題案については、12 月に考えることとした。

児童は、運動会の課題競技『竹馬』で、しんどいことでも最後までやり抜き協力することの大切さについて体験している。このことが係活動についてまだ弱いところがあったので、10 月中旬に係活動についてお互いの頑張りを振り返り、よりよい活動を行うにはメンバーの協力が大切であることをもう一度確認した。

今回の発表会では、各係が協力し、計画を立て、準備・実施をすることを通して自主的・実践的な活動をめざした取り組みにしたいと考える。また、キャリア教育の観点からは、発表会を行うことで係活動の楽しさが全校に伝わるように、自分たちの思いや考えが 3 年生らしい伝え方でできるように工夫させたいと考える。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級をつくるために話し合い、自己の役割や集団としてよりよい方法について考え、判断し、協力して実践している。	みんなで楽しい学校生活をつくることや大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と指導方法
11月6日(金) 業間休み	・議題の選定をする ① お誕生日会をしよう ② 係活動発表会をしよう ③ 地域探検をしよう	・出てきた意見や提案の中から「議題」を決める。 ・選定した議題について全員に知らせ承認を得る。	【関心・意欲・態度】 ・よりよい学級生活づくりのために、進んで議題を選ぼうとしている。＜観察＞
11月9日(月) 昼休み	・活動計画と学級会ノートを作成する。	・みんなが理解できる提案理由になるように提案者に助言する。 ・話し合う内容や順序、時間配分を考え計画を立てる。	【知識・理解】 ・係活動の発表会を行うために話し合わなければいけない事を理解している。 ＜計画委員会活動計画＞
11月10日(火) 昼休み・放課後	・全員の学級会ノートに目を通す。 ・話し合いに必要な短冊等の準備をする。	・話し合いの見通しが持てるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・話し合いの準備を自主的に取り組もうとしている
11月11日(水) 昼休み	・学級会の進め方についてシミュレーションをする。		

【学級全員の活動】

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と指導方法
11月6日(金) 帰りの会	・議題を決定する。	・計画委員会の提案をもとに全員で決定する。	【関心・意欲・態度】 ・発表会を成功させたいという思いで進んで課題を考えたり、選んだりしようとしている。＜観察＞

11月9日(月) 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・決まっていることが共通理解できるように必要に応じて助言する。	【思考・判断・実践】 ・発表会をしようという目的に合った意見を考え、ノートに書いている。 ＜学級会ノート＞
11月11日(水) 朝の会	・教師からの言葉が書かれた学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話合いの意欲を高める。	
11月12日(木) 帰りの会	・自分の考えをきちんと伝えられるように短冊に書いておく ・学級会ノートに目を通す。	・学級会ノートを活用して提案理由を確認させるとともに一人一人にしっかり意見を持たせる。	【関心・意欲・態度】 ・話合いの準備を自主的に取り組もうとしている。

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

○係活動のバージョンアップさせるために行う係活動発表会（全校集会）で各係の良さが伝わる発表内容を考えることができる。

キャリア教育でつきたい力

◎相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。

【人間関係形成・社会形成】

(2) 児童の活動計画（別紙）

(3) 教師の指導計画

話合いの順序	指導上の留意点 ☆・・・キャリア教育視点での留意事項	目指す児童の姿と 評価方法
1 始めの言葉・歌 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由やめあての確認 5 決まっていることの確認 6 話合い ①発表会の名前を決めよう。	・自分のめあてが言えるように事前に指導する。 ・理由をつけて発表できるように助言する。 ・発表会は11月27日 ・発表時間は20分くらい ☆相手が理解しやすいように工夫しながら、理由をつけて発表できるように指導する。	【思考・判断・実践】 ・提案理由をふまえ、発表会をみんなで協力して成功させようとする発言をしている。

②係活動の楽しさを伝えるためのアイデアや工夫を考えよう。	・提案理由を意識し、係活動の楽しさを伝えるための提案ができるよう助言する。	・友だちの意見を参考にして考えて発言している。
③役割と担当を決めよう	・自分の考えに固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについても助言する。	<観察・学級会ノート> 【知識・理解】 ・話合いの進め方や約束を理解している。
7 決まったことの発表		〈観察・計画委員会活動計画〉 ◎キャリア教育 【人間関係形成・社会形成】 ・相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとしている。
8 話合いの振り返り	・良かった点やめあてについて振り返るとともに友だちの良かった点などについても相互評価ができるように助言する。	<観察>
9 先生の話	・提案理由を意識した発言や、意欲的に参加した子どもたちを褒めるとともに、今後の課題を伝える。	
10 終わりの言葉	・計画委員へのねぎらいの言葉を掛けるとともに、実践への見通しをもたせ、事後の活動への意欲が高まるように言葉掛けをする。	

6 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
11月16日(月)～20日(金) 業間休み・放課後等	・学級会で決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・各係で係活動発表会の内容を決め準備をする。	○学級会で決まったことの要点をまとめて書けるように計画委員に助言する。 ・協力し合って活動できるようにする。	【関心・意欲・態度】 ・学級会をふり振り返りながら活動しようとしている。 【思考・判断・実践】 ・係活動発表会の目的を考え、友だちと協力し責任を持って計画をし、取り組もうとしている。
11月23日(月)～26日(木) 昼休み・放課後	・発表練習をする。	・子どもたちが創意工夫して活動できるように教室の環境整備(道具・材料等)を準備する。	【関心・意欲・態度】 ・発表会を成功させるために、協力し意欲的に活動できている。
11月27日(金) 5時間目	・発表会を行う。 ・発表会終了後、感想を記入する。	・係活動の楽しさが伝わるように恥ずかしがらずに活動させる。	

